



結小だより

★自分で学ぶ子
★仲よく助け合う子
★自分できたえる子



全校人権学級活動の授業を行いました。

12月4日～12月10日までが全国人権週間です。今年度の全国人権スローガンは、「『誰か』のことじゃない。」です。人権問題を自分のこととして考え、行動できることが大切です。結小学校では人権週間に先立ち、12月2日（水）に「ひびきあい活動」を行いました。

また、新型コロナウイルスの第3波の到来もあり、今年度は特別に「コロナ・ハラスメント」について全校で考える学級活動の授業を全校一斉に12月7日（月）の4時間目に実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のために、全校が一同に集まることができませんので、校内放送を使い、人権主任の話の聞き、文部科学省の人権啓発ビデオを視聴しました。その後、各学級で、**コロナ・ハラスメントを起こさないために、「今、わたしにできること」について考え、意見交流しました。**以下は、当日の人権主任の話です。

皆さんは、「コロナ・ハラスメント」とは何か知っていますか？

新型コロナウイルスは今までにない病気で誰でも怖いものです。この病気を怖いなど思う気持ちや間違った知識、偏った見方によって、知らず知らずのうちに誰かを避けたり、差別をしたりしていませんか？そうした行動が「コロナ・ハラスメント」です。



「ハラスメント」というのは、相手の人に嫌だなど思う気持ちをもたせるような行動をすることです。自分がどう思っているのかは関係なく、相手の人が嫌だな、と思えばそれがハラスメントになります。コロナウイルスのことについてよく知らないのに、相手の人が嫌だな、と思うようなことを言ったりしてしまふことが「コロナ・ハラスメント」です。

では、これからビデオを見て、「コロナ・ハラスメント」について考えていきましょう。

＜文部科学省 コロナ・ハラスメント 啓発ビデオ「今、キミにできること」を視聴＞

新型コロナウイルスには3つの感染症があります。

第1の感染症は、「病気」そのものです。このウイルスは感染した人と接触することでうつることが分かっています。感染すると風邪症状や味覚障害がおきたりします。重症になると肺炎をおこしたりします。人工呼吸器をつけなければならない人もいます。

第2の感染症は、「不安」です。ウイルスは目には見えません。ワクチンや薬が少しずつ開発されてきています。しかし、まだまだ分からないことが多いため、私たちは強い不安を感じてしまうことがあります。

第3の感染症は、「差別」です。ウイルス感染に関わる人を遠ざけたり差別したりして、人と人との関係が壊されてしまいます。

ウイルスを遠ざけたいという気持ちや感染への不安や恐れが、特定の人や地域、職業に対して「危険」「ばい菌」と考えるなど、差別がおこっていきます。この絵のように、差別の木がどんどん育っていきまふ。さきほどのビデオでもやっていましたね。

では、これらの感染症を防ぐために私たちはどのようなことができるでしょうか。

第1の感染症「病気」を防ぐために「手洗い」「咳エチケット」「人混みをさける」などの行動をすることが大切です。新型コロナウイルスは誰でも感染する可能性があり、私たちが闘っているのは人ではなくウイルスです。

第2の感染症「不安」を防ぐために、コロナウイルスについて正しく理解しましょう。

第3の感染症「差別」を防ぐために、感染した方を思いやり、その立場を守ります。また、お医者さんや看護師さんに感謝をします。患者さんやその家族の人を差別したり、悪口を言ったりすることは決してしてはいけません。確かではないことをうわさしたり、SNSに書き込んだりすることはかえって差別を生みだし、不安を広げてしまうこととなります。

この後、担任の先生の話の聞き、「今、自分ができること」について話し合ひましょう。

学級活動時に各学級で、出た意見（一部を紹介）



<なかよし>

- ・人に差別や言いふらさないで仲よくしたいです。
- ・うわさをしないで、友達に優しくしたいです。
- ・SNSでコロナに対する悪口や差別をしないように優しくしたいです。

<1年生>

- ・誰かがコロナになっても「だいじょうぶ。」と、言ってあげたいです。
- ・わたしにできることは、困っている人にやさしく声をかけることです。

<2年生>

- ・病気にかかった人に優しくしたいし、「ふわふわ言葉」をたくさんつかいたいです。
- ・コロナ・ハラスメントをしている人を見たら、注意したいと思います。

<3年生>

- ・コロナウイルスにかかった人を差別しないことです。誰にでも優しく声をかけたいです。
- ・コロナについて正しく知ることです。ニュースを見たりして、知りたいです。
- ・悪口を言ったり、うわさを広めたりしないで、そっとしておいてあげたいです。

<4年生>

- ・うわさや間違った情報を流さないようにしたいです。
- ・優しさや思いやりの行動は、人を笑顔に明るくすることだと思っています。人に気をつかったり、優しく声をかけたりして差別や不安を減らしたいです。

<5年生>

- ・こそこそ話で悪口や辛い言葉を言わないで、言われてうれしくなる言葉を言いたいです。
- ・不安な人を励ますと笑顔がうまれる、笑顔になって元気になって、病気も早く治ると思うので、励ましの言葉をかけたいです。

<6年生>

- ・かかってしまった人が出たら、責めたり、悪口を言ったりしない。自分が言われたり、やられたりして、うれしくないことは絶対しない。働く人に対する感謝の気持ちも忘れないようにしたいです。
- ・曖昧な情報を流さない。医療従事者の方々への感謝を常に忘れずに生活していくように心がけたいです。
- ・保健委員会として、手洗い・うがいやマスクの着用を呼びかけ、全校のみんなが健康にいられるように気をつけたいです。



1時間の全校人権学級活動を通して、一人一人が、仲間に対する思いやりの気持の大切さを改めて自覚し、絶対に差別をしない。自分の正しい判断がいかに大切であるかも学びました。**ぜひご家庭でも「コロナ・ハラスメント」を話題にして、話をしてください。**そして、保護者の皆様を含め、私たち大人が正しく情報を知り、優しい気持ちで子どもを見守っていただければと思います。もし、身近に「コロナ・ハラスメント」が起きたときには、遠慮なくご相談ください。

<お知らせ・お願い>

- 運動会の写真購入の案内を配付しました。閲覧期限は12月20日（日）までです。
- 新型コロナウイルスの第3波がまだ収まっていません。夏の間は、熱中症の予防のために、登下校でマスクを外すことも認めていましたが、感染症予防のため登下校もマスクを着用しますのでご理解とご協力をお願いします。
- 休日に学校へ遊びに来て、バットによる大きなけがをするということがありました。下校後・休日など、子どもだけで遊びに来る場合は、道具は何も持たずに来ることを全校で約束しました。事故を防ぐためにも道具を使つての遊びは、大人の見守りの中で行っていただきますようお願いいたします。



12月4日から10日までの1週間、「第72回人権週間」を実施いたします。

今回、コロナ禍における新たな取組の1つとして、人権週間の最終日であり、国連で世界人権宣言が採択された記念の「人権デー」である12月10日に、東京スカイツリーと東京タワーを17色にライトアップします。17のカラーは、「誰一人取り残さない」社会を実現するため、SDGs(Sustainable Development Goals)が掲げた17のゴールを表現したものです。

今年は、新型コロナウイルス感染症に関連して、差別やいじめなど、様々な人権問題が発生しました。また、SNS上での誹謗中傷なども社会問題になりました。

感染対策を意識した「新しい生活様式」を実践する中であっては、軋轢やストレスが生ずることもあるでしょう。感染に対するおそれもあるでしょう。

しかし、だからといって、誰かの人権が傷付けられてはなりません。感染する可能性は誰にでもあります。感染などを理由に誰かが受けている差別は、自分の身にも降りかかり得るものです。

この機会に、様々な人権問題について、「誰かのことではなく自分のこととして捉え、考えていただきたい」、ライトアップは、このような思いを込めて実施するものです。

一人一人の行動で、全ての人の人権が尊重される社会を実現しましょう。

令和2年11月27日
法務大臣 上川 陽子